

東

2020年4月期 決算短信[日本基準](連結)

2020年6月5日

上場取引所

上場会社名 インスペック株式会社

コード番号 6656 URL http://www.inspec21.com (役職名) 代表取締役社長兼代表執行役員 代表者

(氏名) 菅原 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理部長 (氏名) 冨岡 喜榮子 TEL 0187-54-1888

定時株主総会開催予定日 2020年7月28日 配当支払開始予定日 2020年7月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年7月29日

決算補足説明資料作成の有無 有

決算説明会開催の有無 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年4月期の連結業績(2019年5月1日~2020年4月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期	2,348	17.5	44	85.8	98	64.8	70	68.0
2019年4月期	2,847	48.3	316		281		222	

(注)包括利益 2020年4月期 64百万円 (71.3%) 2019年4月期 224百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円 銭	%	%	%
2020年4月期	20.24	19.77	4.8	2.9	1.9
2019年4月期	67.37	66.61	21.7	9.3	11.1

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年4月期	3,805	1,949	47.6	479.84
2019年4月期	3,026	1,261	37.8	346.20

(参考) 自己資本 2020年4月期 1,809百万円 2019年4月期 1,143百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年4月期	98	1,013	1,110	1,126
2019年4月期	515	74	52	931

2. 配当の状況

			配当金総額	配当性向	純資産配当			
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	(合計)	(連結)	率(連結)
	円銭	円銭	円銭	円銭	円 銭	百万円	%	%
2019年4月期		0.00		0.00	0.00			
2020年4月期		0.00		3.00	3.00	11	14.8	0.7
2021年4月期(予想)		0.00		3.00	3.00		11.3	

3. 2021年 4月期の連結業績予想(2020年 5月 1日~2021年 4月30日)

(%表示は 対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,400	2.2	170	279.7	130	31.4	100	41.0	26.51

⁽注)当社では年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無以外の会計方針の変更 : 無会計上の見積りの変更 : 無修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数 期中平均株式数

2020年4月期	3,772,100 株	2019年4月期	3,301,800 株
2020年4月期	61 株	2019年4月期	31 株
2020年4月期	3,505,259 株	2019年4月期	3,295,412 株

(参考)個別業績の概要

2020年4月期の個別業績(2019年5月1日~2020年4月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上i	高	営業利	益	経常和	益	当期純	利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期	1,881	17.8	149	54.4	212	35.0	173	34.8
2019年4月期	2,287	69.9	328		326		265	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純 利益
	円銭	円銭
2020年4月期	49.46	48.31
2019年4月期	80.66	79.75

(2) 個別財政状態

(参考) 自己資本

(-) III 337	3 - 27 17 17 10 1				
		総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
		百万円	百万円	%	円銭
2020年	4月期	3,757	2,050	51.3	510.64
2019年	4月期	2,867	1,253	40.4	351.21

2019年4月期 1,159百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

2020年4月期 1,926百万円

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではございません。また、実際の業績等は様々な要因により大き〈異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧〈ださい。

インスペック株式会社 (6656) 2020年4月期 決算短信 (連結)

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1)当期の経営成績の概況	2
(2)当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4)今後の見通し	3
2. 企業集団の状況	4
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1)連結貸借対照表	6
(2)連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5)連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2019年5月1日~2020年4月30日)における世界経済は、欧州においては、2020年1月31日をもって英国がEUを離脱し、今後はEU各国との通商交渉が残るなど先行き不透明な状況となり、米中貿易摩擦につきましては双方が関税の一部引き下げで歩み寄りの姿勢をみせておりましたが、2019年末からの新型コロナウイルスの感染拡大により、急速に先行きの見通しが難しい状況に変化してきております。わが国経済につきましても、米中貿易摩擦に続く新型コロナウイルスの感染拡大による経済への影響が懸念され、先行き不透明感が増してきております。

このような経営環境の中、当社グループの当連結会計年度の売上高は2,348百万円(前年同期比17.5%減)、営業利益は44百万円(前年同期比85.9%減)、経常利益は98百万円(前年同期比64.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は70百万円(前年同期比68,0%減)となりました。

また、当社は新規事業として、長尺FPC(フレキシブル基板)をシームレスに連続露光可能なロールtoロール型シームレスレーザー直描露光機を開発し発表致しました。今後、長尺FPCは自動車分野をはじめとして、航空機、宇宙産業、ドローン、ウエアラブル機器、各種ロボット、医療機器など多くの分野で利用が拡大していくものと思われます。すでに2020年1月に開催されました「インターネプコンジャパン」においては、当該装置に関するお問い合わせを複数頂いております。今後は新製品を国内外の展示会に出展するなど、受注獲得を目指すべく営業活動を行い、本事業が当社の成長を牽引し当社の大きな柱となるよう積極的に取り組んでまいります。

当社は、経営理念に基づき最高品質の製品・サービスを提供することを目的として2020年4月にISO9001を取得致しました。「契約・約束を守る」、「仕事に責任を持つ」、「品質(Q)、価格(C)、納期(D)を厳守する」等基本を忠実に実行し、プロジェクトマネジメントを含めたビジネス品質の向上を通じて、お客様からの信頼・信用を重ね、企業価値とインスペックブランドの向上を目指してまいります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業(当社)

当連結会計年度においては、米中貿易摩擦の影響により、当連結会計年度の前半においてユーザーが投資判断を先送りする傾向にありました。その後、当連結会計年度の後半より、主に当社が現在戦略的に取り組んでおりますロールtoロール型検査装置の商談が進展し、受注が持ち直してきておりましたが、新型コロナウイルスの急速な感染拡大の影響により、当連結会計年度の売上高は当初計画を下回りました。

なお、当連結会計年度の受注の状況につきましては、主に新規の国内顧客からFPC用ロールtoロール型検査装置及びフラットベッド型検査装置を受注し、当連結会計年度における受注額は1,489百万円(前年同期比30.9%減)となっており、当連結会計年度末における受注残高は929百万円(前年同期比29.7%減)となりました。

この結果、当事業の売上高は1,881百万円(前年同期比17.8%減)となり、セグメント利益は149百万円(前年同期比54.4%減)となりました。

②精密基板製造装置関連事業 (First EIE SA)

当連結会計年度においては、当事業の主力製品でありますフォトプロッター(基板のフィルム原版を印刷する装置)及びダイレクトイメージング装置(基板にパターンを直接描画する装置)が売上を牽引しておりますが、 米中貿易摩擦の影響により中国市場において投資のタイミングを先延ばしにする傾向がみられ、さらに新型コロナウイルスの感染拡大により、当連結会計年度の売上高は当初計画を下回りました。

この結果、当事業の売上高は467百万円(前年同期比16.6%減)となり、セグメント損失は110百万円(前年同期はセグメント損失22百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産の部は、前連結会計年度末に比べ779百万円増加し、3,805百万円となりました。これは主に、現金及び預金226百万円の増加、仕掛品226百万円の減少、工場増築に伴う建物及び構築物(純額)342百万円の増加及び転換社債取得に伴う投資有価証券500百万円の増加によるものです。

(負債)

負債の部では、前連結会計年度末に比べ91百万円増加し、1,856百万円となりました。これは主に、支払手形 及び買掛金201百万円の減少、前受金175百万円の減少、短期借入金348百万円の増加、及び長期借入金223百万円 の増加によるものです。

(純資産)

純資産の部では、前連結会計年度末に比べ688百万円増加し、1,949百万円となりました。これは主に、新株予 約権の行使による資本金296百万円及び資本剰余金296百万円の増加、及び親会社株主に帰属する当期純利益70百 万円の計上によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ194百万 円増加し、1,126百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は98百万円となりました。これは主に、売上債権の減少によるキャッシュ・フロ 一の増加額164百万円、たな卸資産の減少によるキャッシュ・フローの増加額236百万円、仕入債務の減少による キャッシュ・フローの減少額201百万円、前受金の減少によるキャッシュ・フローの減少額175百万円及び税金等 調整前当期純利益99百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,013百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出477百 万円、投資有価証券の取得による支出500百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は1,110百万円となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行 による収入575百万円、短期借入金の純増減額による収入343百万円及び長期借入れによる収入369百万円による ものであります。

(4) 今後の見通し

今後の世界の経済情勢は、新型コロナウイルスの世界的流行による実体経済の悪化が強く懸念されます。このよ うな状況の中、当社グループは、ニーズが拡大しているFPC向けロールtoロール型検査装置、チップ部品やフラ ットパネルディスプレイ向けのインライン検査システム、さらにクラウドサーバーの継続的な拡大やAIの急速な 進化の対応で微細化が加速しているCPUやGPU向け超精密基板向け検査装置を主力製品として、競争力を更に 高め顧客との信頼関係を強固にして、検査装置事業及びプリント基板製造装置関連事業の拡大に取り組んでまいり ます。

また、新規事業として取り組んでいるロールtoロール型シームレスレーザー直描露光機については、販売活動の 強化策として、当社ホームページを生かしたデジタルマーケティングを活用するなど受注獲得に努めてまいりま す。

なお、剰余金の配当につきましては、当社はこれまで無配を継続しておりましたが、当社の業績及び財政状態等 を総合的に勘案した結果、期末配当として1株当たり3円を実施する予定です。また、次期の配当につきまして は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により厳しい経営環境が予想されますが、普通配当を維持していく予定 です。

2021年4月期の連結業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大が終息し、日本国内を自由に往来で きるようになり、主要事業国の台湾、中国において渡航制限が解除されることを前提としております。

売上高 2,400百万円(前連結会計年度は2,348百万円) 営業利益 170百万円(前連結会計年度は 44百万円) 経常利益 130百万円(前連結会計年度は 98百万円)

親会社株主に帰属する当期純利益 100百万円(前連結会計年度は 70百万円)

※ 2021年4月期の業績見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。 予想にはさまざまな不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素により業績予想とは異なる場合があ ります。

2. 企業集団の状況

当社は、安定的な収益基盤の確保と強化を目的として、2015年3月30日に海外市場での事業拡大及び技術開発などのシナジーを見込んで、First EIE SA (スイス・ニョン) の株式51%を取得し子会社化いたしました。さらに2017年8月2日に同社株式38%を追加取得いたしました。これにより、当社グループは、当社 (インスペック株式会社)、First EIE SA及び台湾英視股份有限公司の3社により構成されており、当社グループの事業は、半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業及び精密基板製造装置関連事業の2事業となっております。

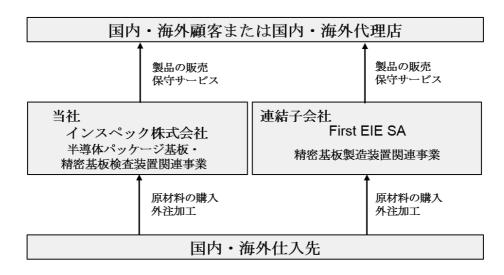
なお、台湾英視股份有限公司につきましては、連結財務諸表に及ぼす影響に重要性が乏しいため、連結の範囲より除外しております。

【事業の内容】

半導体パッケージ基板・ 精密基板検査装置関連事業	スマートフォン、タブレットPCやウェアラブル端末などの先端的なデジタル機器に使用される半導体パッケージ基板や精密プリント基板などの外観検査装置の開発、製造、販売及び保守サービスを行っております。
精密基板製造装置関連事業	プリント基板用フォトプロッター、インクジェットプリンター、ダイレクトイメ ージング装置の開発、製造、販売及び保守サービスを行っております。

[事業系統図]

当社グループの事業系統図は、次のとおりであります。



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRSにつきましては、今後も制度動向等を注視してまいります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1)連結貸借対照表

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当連結会計年度 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	977, 797	1, 204, 139
受取手形及び売掛金	416, 684	273, 946
電子記録債権	22, 526	680
商品及び製品	117, 736	116, 170
仕掛品	787, 063	560, 163
原材料及び貯蔵品	149, 384	142, 249
その他	34, 634	59, 661
貸倒引当金	△1,043	△728
流動資産合計	2, 504, 785	2, 356, 283
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	166, 696	509, 168
機械装置及び運搬具(純額)	42, 981	61, 347
土地	53, 440	92, 440
建設仮勘定	35, 090	74, 440
その他(純額)	24, 900	35, 808
有形固定資産合計	323, 109	773, 205
無形固定資産		
のれん	165, 968	140, 415
その他	8, 077	12, 478
無形固定資産合計	174, 046	152, 893
投資その他の資産		
投資有価証券	5, 899	505, 899
貸倒引当金	-	36
その他	18, 359	17, 227
投資その他の資産合計	24, 259	523, 163
固定資産合計	521, 415	1, 449, 261
資産合計	3, 026, 200	3, 805, 544

		(単位・1円)
	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当連結会計年度 (2020年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	317, 727	116, 170
短期借入金	552,000	900, 000
1年内返済予定の長期借入金	149, 856	130, 810
未払法人税等	59, 223	6, 136
前受金	317, 757	141, 838
製品保証引当金	11, 292	8, 503
賞与引当金	66, 184	32, 927
その他	83, 847	67, 887
流動負債合計	1, 557, 888	1, 404, 273
固定負債		
長期借入金	158, 239	382, 195
繰延税金負債	30, 837	44, 770
資産除去債務	307	309
その他	17, 754	24, 642
固定負債合計	207, 138	451, 917
負債合計	1, 765, 027	1, 856, 191
純資産の部		
株主資本		
資本金	825, 450	1, 122, 075
資本剰余金	425, 983	722, 609
利益剰余金	△60, 063	10, 879
自己株式	$\triangle 41$	△106
株主資本合計	1, 191, 329	1, 855, 458
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	$\triangle 48,254$	△45, 480
その他の包括利益累計額合計	△48, 254	△45, 480
新株予約権	94, 206	124, 710
非支配株主持分	23, 891	14, 665
純資産合計	1, 261, 172	1, 949, 353
負債純資産合計	3, 026, 200	3, 805, 544
		·

(2)連結損益計算書及び連結包括利益計算書 (連結損益計算書)

		(単位・1円)
	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
売上高	2, 847, 404	2, 348, 206
売上原価	1, 663, 041	1, 416, 678
売上総利益	1, 184, 362	931, 527
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	246, 995	227, 789
賞与引当金繰入額	26,070	15, 538
役員賞与引当金繰入額	11,000	5,000
支払手数料	29, 427	30, 659
研究開発費	128, 990	161, 850
その他	425, 865	445, 919
販売費及び一般管理費合計	868, 349	886, 757
営業利益	316, 012	44, 770
営業外収益		
受取利息	3	25
貸倒引当金戻入額	607	17
補助金収入	32, 181	73, 944
その他	958	2, 404
営業外収益合計	33, 750	76, 391
営業外費用		
支払利息	16, 311	13, 987
手形売却損	10	87
株式交付費	870	1,020
為替差損	543	1, 848
持分法による投資損失	20, 327	_
シンジケートローン手数料	30, 333	4, 107
その他	0	1, 153
営業外費用合計	68,396	22, 203
経常利益	281, 366	98, 958
特別利益		
固定資産売却益	4, 551	189
投資有価証券売却益	6, 150	_
特別利益合計	10,702	189
特別損失		
固定資産除却損	0	14
投資有価証券評価損	14, 619	_
特別損失合計	14, 619	14
税金等調整前当期純利益	277, 448	99, 133
法人税、住民税及び事業税	52, 140	23, 715
法人税等調整額	3, 443	13, 769
法人税等合計	55, 583	37, 484
当期純利益	221, 865	61, 648
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△152	△9, 294
親会社株主に帰属する当期純利益	222, 017	70, 943

(連結包括利益計算書)

(定用 5]67] 盖时开目)		(単位:千円)
	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
当期純利益	221, 865	61, 648
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3, 076	2, 842
その他の包括利益合計	3, 076	2, 842
包括利益	224, 942	64, 491
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	225, 034	73, 670
非支配株主に係る包括利益	$\triangle 92$	$\triangle 9,179$

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	822, 971	423, 504	△288, 538	△41	957, 895
当期変動額					
新株の発行(新株予 約権の行使)	2, 478	2, 478			4, 957
親会社株主に帰属す る当期純利益			222, 017		222, 017
連結子会社の減少に よる非支配株主持分 の増減			6, 458		6, 458
自己株式の取得					_
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					_
当期変動額合計	2, 478	2, 478	228, 475		233, 433
当期末残高	825, 450	425, 983	△60, 063	△41	1, 191, 329

	その他の包括	舌利益累計額	der III A. I. I fin	-1-+-≖¬++2-++-/\	/ to Virgo order A = 1	
	為替換算調整勘定	その他の包括利 益累計額合計	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計	
当期首残高	△51, 271	△51, 271	64, 626	160, 783	1, 132, 034	
当期変動額						
新株の発行(新株予 約権の行使)					4, 957	
親会社株主に帰属する当期純利益					222, 017	
連結子会社の減少に よる非支配株主持分 の増減					6, 458	
自己株式の取得					_	
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	3, 017	3, 017	29, 579	△136, 892	△104, 296	
当期変動額合計	3, 017	3, 017	29, 579	△136, 892	129, 138	
当期末残高	△48, 254	△48, 254	94, 206	23, 891	1, 261, 172	

当連結会計年度(自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	825, 450	425, 983	△60, 063	△41	1, 191, 329	
当期変動額						
新株の発行(新株予 約権の行使)	296, 625	296, 625			593, 251	
親会社株主に帰属する当期純利益			70, 943		70, 943	
連結子会社の減少に よる非支配株主持分 の増減					_	
自己株式の取得				△65	△65	
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					_	
当期変動額合計	296, 625	296, 625	70, 943	△65	664, 128	
当期末残高	1, 122, 075	722, 609	10, 879	△106	1, 855, 458	

	その他の包括利益累計額		如.ht マ.04.1左	→	<i>体次立</i> ∧ ⇒I
	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	△48, 254	△48, 254	94, 206	23, 891	1, 261, 172
当期変動額					
新株の発行(新株予 約権の行使)					593, 251
親会社株主に帰属する当期純利益					70, 943
連結子会社の減少に よる非支配株主持分 の増減					_
自己株式の取得					△65
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	2,773	2,773	30, 504	△9, 226	24, 051
当期変動額合計	2,773	2,773	30, 504	△9, 226	688, 180
当期末残高	△45, 480	△45, 480	124, 710	14, 665	1, 949, 353

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	277, 448	99, 133
減価償却費	57, 697	50, 563
のれん償却額	27,777	27, 346
株式報酬費用	31, 311	48, 754
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△570	△300
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△5, 049	△2, 852
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 43,523$	_
支払利息	16, 311	13, 987
シンジケートローン手数料	30, 333	4, 107
持分法による投資損益(△は益)	20, 327	_
受取利息及び受取配当金	$\triangle 3$	△25
投資有価証券売却損益(△は益)	△6, 150	_
補助金収入	△32, 181	△73, 944
固定資産売却損益(△は益)	$\triangle 4,551$	△189
固定資産除却損	0	14
投資有価証券評価損益(△は益)	14, 619	_
売上債権の増減額(△は増加)	153, 035	164, 452
たな卸資産の増減額(△は増加)	△489, 749	236, 893
仕入債務の増減額(△は減少)	31, 159	△201, 926
未払金の増減額(△は減少)	1, 520	\triangle 10, 721
前受金の増減額(△は減少)	309, 932	△175, 681
その他	108, 949	△69, 755
小計 _	498, 644	109, 853
利息及び配当金の受取額	3	25
利息の支払額	$\triangle 13,750$	△12, 623
補助金の受取額	32, 181	78, 856
法人税等の支払額	△8, 914	△77, 735
法人税等の還付額	6, 961	_
営業活動によるキャッシュ・フロー	515, 125	98, 377
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	\triangle 77, 235	△477, 089
無形固定資産の取得による支出	△4, 924	△7, 769
有形固定資産の売却による収入	8, 986	190
投資有価証券の売却による収入	19, 499	_
投資有価証券の取得による支出	_	△500,000
その他	△20, 698	△29, 181
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74, 371	△1, 013, 851
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	3, 226	575, 001
短期借入金の純増減額(△は減少)	121, 486	343, 889
長期借入れによる収入	-	369, 605
長期借入金の返済による支出	△165, 856	△164, 695
リース債務の返済による支出	△10, 744	△12, 469
その他の支出	△870	 △954
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52, 757	1, 110, 375

インスペック株式会社 (6656) 2020年4月期 決算短信 (連結)

		(井 1111/
	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△120	△561
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	387, 876	194, 340
現金及び現金同等物の期首残高	883, 679	931, 797
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	$\triangle 339,757$	_
現金及び現金同等物の期末残高	931, 797	1, 126, 137

(5)連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額の著しい変動

当連結累計期間において新株予約権(第5回、第6回、第7回及び第10回新株予約権)の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ296,625千円増加しております。

この結果、当連結会計期間末において、資本金が1,122,075千円、資本剰余金が722,609千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、会社をベースとして構成した「半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業」、「精密基板製造装置関連事業」の2つを報告セグメントとしております。

- 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法 報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。
- 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報 前連結会計年度(自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)

	報告セク	グメント				
	半導体パッケー ジ基板・精密基 板検査装置関連 事業	精密基板製造装 置関連事業	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表計上額	
売上高						
外部顧客への売上高	2, 287, 430	559, 973	2, 847, 404	_	2, 847, 404	
セグメント間の内部売上高又は 振替高	_	_	_	_	_	
計	2, 287, 430	559, 973	2, 847, 404	_	2, 847, 404	
セグメント利益又は損失 (△) (注) 1	328, 421	△22, 394	306, 026	9, 986	316, 012	
セグメント資産	2, 491, 432	540, 739	3, 032, 171	△5, 971	3, 026, 200	
セグメント負債	1, 614, 083	156, 321	1, 770, 405	△5, 378	1, 765, 027	
その他の項目						
減価償却費	52, 074	5, 623	57, 697	_	57, 697	
のれんの償却額	_	27, 777	27, 777	_	27, 777	
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	82, 204	2, 950	85, 155	_	85, 155	

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と一致しております。
 - 2. セグメント資産及びセグメント負債の調整額は、セグメント間債権債務消去であります。

当連結会計年度(自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位:千円)

<u> </u>	1	-			
	報告セグメント				
	半導体パッケー ジ基板・精密基 板検査装置関連 事業	精密基板製造装 置関連事業	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表計 上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,881,080	467, 126	2, 348, 206	_	2, 348, 206
セグメント間の内部売上高又は振替 高	_	_	_	_	_
13 <u>1</u>	1,881,080	467, 126	2, 348, 206	_	2, 348, 206
セグメント利益又は損失 (△) (注) 1	149, 608	△110, 307	39, 301	5, 468	44, 770
セグメント資産	3, 381, 049	445, 102	3, 826, 151	△20, 606	3, 805, 544
セグメント負債	1, 706, 641	170, 280	1, 876, 922	△20, 730	1, 856, 191
その他の項目					
減価償却費	45, 010	5, 553	50, 563	_	50, 563
のれんの償却額	_	27, 346	27, 346	_	27, 346
有形固定資産及び無形固定資産の増 加額	502, 999	1, 976	504, 976	_	504, 976

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と一致しております。
 - 2. セグメント資産及びセグメント負債の調整額は、セグメント間債権債務消去であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
1株当たり純資産額	346. 20円	479.84円
1株当たり当期純利益金額	67. 37円	20. 24円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	66. 61円	19.77円

(注) 1.1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当連結会計年度 (2020年4月30日)
純資産の部の合計額 (千円)	1, 261, 172	1, 949, 353
純資産の部の合計額から控除する金額(千 円)	118, 097	139, 375
(うち新株予約権(千円))	(94, 206)	(124, 710)
(うち非支配株主持分(千円))	(23, 891)	(14, 665)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1, 143, 075	1, 809, 977
1株当たり純資産額の算定に用いられた期 末の普通株式の数(株)	3, 301, 769	3, 772, 039

インスペック株式会社(6656)2020年4月期 決算短信(連結)

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

とわりであります。					
	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)			
1株当たり当期純利益金額					
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	222, 017	70, 943			
普通株主に帰属しない金額(千円)	_	_			
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額 (千円)	222, 017	70, 943			
期中平均株式数(株)	3, 295, 412	3, 505, 259			
潜在株式調整後1株当たり当期純利益 金額 親会社株主に帰属する当期純利益調整					
額(千円)	_				
普通株式増加数(株)	37, 660	83, 593			
(うち新株予約権(株))	(37, 660)	(83, 593)			
希薄化効果を有しないため、潜在株式 調整後1株当たり当期純利益金額の算 定に含めなかった潜在株式の概要	第6回新株予約権となる 無償ストックオプション (普通株式 42,500株) 第7回新株予約権となる 無償ストックオプション (普通株式 4,500株) 第9回新株予約権となる 無償ストックオプション (普通株式 50,000株) 第10回有償新株予約権 (普通株式 440,000株) 第11回新株予約権となる 無償ストックオプション (普通株式 20,000株)				

(重要な後発事象)

(多額の資金の借入)

1. 借入の目的

当社は、新型コロナウイルス感染症拡大の事業への影響を鑑み、財務基盤の安定化を図るべく手元資金を厚く保持することを目的として、借入を実行することを2020年4月13日及び2020年4月20日開催の取締役会で決議し、調達致しました。

2. 借入の概要

(1)	借入先	株式会社 日本政策金融公庫	株式会社 商工組合中央金庫	株式会社秋田銀行
(2)	借入金額	300百万円	300百万円	130百万円
(3)	借入実行日	2020年5月29日	2020年5月27日	2020年5月29日
(4)	返済期限	2028年5月20日	2035年5月25日	2026年5月25日
(5)	借入利率	固定金利	固定金利	固定金利
(6)	担保の有無	無担保	無担保	無担保

3. 今後の見通し

本件借入による2021年4月期の当社連結業績に与える影響は軽微であります。